

1. 科目名 (単位数)	造形芸術Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	SJMP2321								
2. 授業担当教員	片岡浩											
4. 授業形態	演習		5. 開講学期	秋期								
6. 履修条件・他科目との関係												
7. 講義概要	造形芸術Ⅰにおける「みる、かぐ、あじわう、きく、ふれる」という人間の本来持っている五感を活用して、感じ、感じ取り、「扱う素材・材料の特性」を最大限に活かしながら表現し、伝える体験を更に深めていきます。また「上手い、下手」という一つの見方や価値観に捉われることなく、誰もが出来る、誰もが楽しめる造形プログラムに取り組みながら「美術」が本来持つ素晴らしさ、楽しさを実感してもらうことを目的とします。											
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術的な「上手・下手」にとらわれず、ものづくりの楽しさや表現の喜び、感動を実感として得る。 2. 五感で感じ取り表現する体験をとおして独自の表現の力を養う。 3. 素材の特性を活かした造形表現能力を養う。 4. 感性と表現、五感と素材表現、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を養う。 											
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題作品提出 2. プレゼンテーションおよび資料 (写真) の提出 											
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】(購入の必要はない) 適宜資料を配布します。作品制作のための道具、材料は事前に指示しますので各自で用意してください。											
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 造形活動にどのように向き合い取り組んだかという点を評価する。 2. 作品への取り組み方による評価を行う。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への取り組み、制作や鑑賞活動の成果、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>4. 課題 (作品発表、レポート等)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table>				1. 授業への積極的参加	総合点の 20%	2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の 30%	3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)	総合点の 30%	4. 課題 (作品発表、レポート等)	総合点の 20%
1. 授業への積極的参加	総合点の 20%											
2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の 30%											
3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)	総合点の 30%											
4. 課題 (作品発表、レポート等)	総合点の 20%											
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 五感で感じ、材料・素材の特性を自由に表現し、表現する「楽しさ」を実感して下さい。 2. 指示されたノルマやプログラムをただこなすのではなく、「失敗しても構わないので」自分の興味関心を大切にし、自ら考え工夫し判断しながら自由な心で取り組む習慣を身に付けていって下さい。 3. 授業日程は実習の進行状況によって調整する場合があります。 											
13. オフィスアワー	※ 現在、時間割曜日未定											
14. 授業展開及び授業内容												
講義日程	授業内容		学習課題									
第1回	<p>オリエンテーション (授業内容、目的、評価、用意するものなど)</p> <p>・座席決め、・自己紹介記入、・自画像 ・右脳と左脳の表現 【必要な道具】必要な道具は前週に指示する</p>	事前学習	美術・芸術作品に親しむ為、NHK 日曜美術館などメディアを通じた美術・芸術鑑賞を行う									
		事後学習	過去の作品制作体験を振り返り、図画工作でやってみたいことのイメージを膨らませアイデアをクロッキー帳に描きとめておく									
第2回	<p>五感を働かせながら素材の特性を活かした表現① 「ケント紙による造形①」 【必要な道具】定規、カッター、のり</p>	事前学習	五感で感じ経験した様々な情報を「色」を使ってクロッキー帳に自由に表現する									
		事後学習	異なるモチーフを用いて授業と同様の表現に取り組み、課題の技法と表現について理解する									
第3回	<p>五感を働かせながら素材の特性を活かした表現② 「ケント紙による造形②」 【必要な道具】定規、カッター、のり</p>	事前学習	五感で感じ経験した様々な情報を「色」を使ってクロッキー帳に自由に表現する									
		事後学習	作品表現に関わる技法のまとめ 写真撮影									
第4回	<p>五感を働かせながら素材の特性を活かした表現③ 「ケント紙による造形③」 【必要な道具】定規、カッター、のり</p>	事前学習	「作品」に対する意識を高め、造詣を深め、興味・関心・創作意欲を養う為に、ジュンク堂や図書館などで美術・芸術の情報に触れたり、銀座のギャラリー巡りを体験する (研究室前に展覧会情報が掲示してあります※ギャラリーは基本的には入場無料ですのでマナーを守って鑑賞しましょう)									
		事後学習	ダンボールの性質とその表現方法を探る									

第5回	五感を働かせながら素材の特性を活かした表現④ 「ケント紙による造形④」 【必要な道具】 定規、カッター、のり	事前学習	ダンボールの性質を活かした立体構成についての研究
		事後学習	ダンボールの性質を活かした立体構成についての研究
第6回	五感を働かせながら素材の特性を活かした表現⑤ デッサン① 【必要な道具】 クロッキー帳	事前学習	ダンボールに対する色彩表現の研究
		事後学習	作品表現に関わる技法のまとめ 写真撮影
第7回	五感を働かせながら素材の特性を活かした表現⑥ デッサン② 【必要な道具】 クロッキー帳	事前学習	素材の性質を探る。
		事後学習	素材の性質を探り、新たな表現方法を発見する。
第8回	五感を働かせながら素材の特性を活かした表現⑦ デッサン③ 【必要な道具】 クロッキー帳	事前学習	紙と絵の具の性質を探る
		事後学習	素材の性質を探り、新たな表現方法を発見する
第9回	五感を働かせながら素材の特性を活かした表現⑧ デッサン④ 【必要な道具】 クロッキー帳	事前学習	粘土の性質を探り、新たな表現方法を発見する
		事後学習	作品表現に関わる技法のまとめ 写真撮影
第10回	素材を扱う造形実習1 金属・土	事前学習	美術館・ギャラリー等の見学により作品鑑賞を行う
		事後学習	レポートの作成
第11回	素材を扱う造形実習2 金属・土	事前学習	美術館・ギャラリー等の見学により作品鑑賞を行う
		事後学習	レポートの作成
第12回	素材を扱う造形実習3 金属・土	事前学習	各自が素材・テーマを事前に決める
		事後学習	異なるモチーフを用いて授業と同様の表現に取り組み、課題の技法と表現について理解する 素材表現の可能性について試行錯誤し探求する
第13回	素材を扱う造形実習4 金属・土	事前学習	各自が素材・テーマを事前に決める
		事後学習	異なるモチーフを用いて授業と同様の表現に取り組み、課題の技法と表現について理解する 素材表現の可能性について試行錯誤し探求する
第14回	素材を扱う造形実習5 金属・土	事前学習	各自が素材・テーマを事前に決める
		事後学習	異なるモチーフを用いて細密表現に取り組み、質感の表わし方を学び理解する
第15回	素材を扱う造形実習6 金属・土	事前学習	各自が素材・テーマを事前に決める
		事後学習	異なるモチーフを用いて授業と同様の表現に取り組み、課題の技法と表現について理解する 素材表現の可能性について試行錯誤し探求する